

## 第10回トラック輸送における取引環境・労働時間改善富山県地方協議会 議事概要

### 1. 日時

令和5年7月26日（水） 13時00分～

### 2. 場所

富山県トラック会館

### 3. 委員

|           |                                                                    |
|-----------|--------------------------------------------------------------------|
| 佐藤 悦夫     | 富山国際大学現代社会学部 教授                                                    |
| 大橋 豊      | 富山県商工会議所連合会 常任理事・事務局長                                              |
| 寺山 収      | 一般社団法人富山県経営者協会 専務理事                                                |
| 江下 修      | 富山県中小企業団体中央会 専務理事                                                  |
| 田中 勉      | 富山県消費者協会 事務局長                                                      |
| 杉本 秀昭     | 株式会社不二越 調達本部調達一部物流管理センター マネージャー<br>(代理 堺 基成 調達本部調達一部物流管理センター リーダー) |
| 森田 淳      | YKKAP株式会社 生産本部ロジスティクス部輸送企画室長<br>(代理：佐藤 貴哉 輸送企画室)                   |
| 竹村 公秀     | 三協立山株式会社 三協アルミ社事業統括部事業企画部長                                         |
| 塚田 宏之（欠席） | 中越パルプ工業株式会社 経営管理本部管理部副部長                                           |
| 小杉 紘平     | 魚津運輸株式会社 取締役会長                                                     |
| 勝山 功      | 三和運輸株式会社 取締役相談役                                                    |
| 荒木 一義     | 株式会社荒木運輸 取締役社長                                                     |
| 林 伸治      | 一般社団法人富山県トラック協会 専務理事                                               |
| 石田 康博     | 全日本運輸産業労働組合富山県連合会 執行委員長                                            |
| 吉岡 勝利     | 厚生労働省富山労働局長（代理 福永 伸一 労働基準部長）                                       |
| 佐橋 真人     | 国土交通省北陸信越運輸局長（代理 竹村 康仁 自動車交通部長）                                    |
| 【オブザーバー】  |                                                                    |
| 島田 俊之     | 富山県商工労働部立地通商課物流通商班長                                                |

### 4. 概要

#### 議題

#### 1. 令和5年度の取組について

資料1-1、1-2、1-3 令和5年度の取り組みについて

資料2 物流の「2024年問題」～国土交通省の取り組み～

資料3 富山県物流効率化支援事業費補助金のご案内

#### 2. 意見交換

## ○主な意見等

(令和5年度の取組について)

- ・標準運賃が定められたが実際は大半の方が収受できていない。【貨物運送事業者・団体等】
- ・高速道路利用料金の引き下げについても500kmを超えたらかかるようだが、富山から500kmでは東京を突き抜けていく。バックアップが無いまま運送事業者だけ労働時間を減らせというのは非常に厳しい。【貨物運送事業者・団体等】
- ・富山は日本の真ん中に位置しているが貨物で言う行き止まりである。福井に行くのに新潟、長野、富山を通る人はいない。富山は中継地点ではなく最終地点であり、帰り荷がなかなか無くて、運送事業者は帰り荷の確保に非常に苦労している。【貨物運送事業者・団体等】

(意見交換)

- ・県内地域、特に幹線道路でトラック・トレーラーの駐車スペースが少ないというドライバーからの意見を踏まえて、駐車スペースの確保なり、あるいは市街地または駅周辺での集配車の荷捌き所の整備なり、宅配ボックスの設置なり、そういったことに重点を置きながら関係各所への情報活動にも取り組んでいる【労働組合等】
- ・トラックドライバーの賃上げというのは今の事業環境から、産業間の格差が出たと思っており、全体的な賃上げの推移を見ると取り残された状況である。モデルとなるべく賃金の制度を長時間労働に頼らない賃金構造、8時間、適正な時間管理の中で一定程度これまでの賃金水準を維持できるような、モデルを事業者のみなさんにつくっていくことが必要。【労働組合等】
- ・宅配など分かりやすい例だと、例えばコピー用紙を事務所に配達しにきて、奥の印刷室まで運ぶことを頼まれたり、現状でもまだまだそういう状況がある。【労働組合等】
- ・消費生活においてはエシカル消費という取り組みがあり、倫理的な消費行動というような、宅配に限らず安いものを買えばよいというものではなく、色々な消費行動の裏には社会的な問題なり環境問題なり、そういったものがあるということを意識して行動しようということを、消費者協会では啓蒙活動に取り組んでいる。ここでは宅配の再配達、こういった場を通じて消費者へ協力、啓発をしていきたい。【経済団体等】
- ・荷主の行動変容ということで、荷待ち時間の削減については全社に周知していけるよう推進していきたい【荷主企業等】
- ・セミトレーラーを使って、途中でヘッドを交換する、ダブル連結トラックを利用するなど対策をとっている。目安として600kmで運行表を確認して、休憩が取れているかだとか絞って、今年度中にはなんとかしたい。乗せ替えなどの対策はしている。【荷主企業等】
- ・政策パッケージやガイドラインのところでいきますと、建材については建材設備産業協会というところが事務局になりまして、業界としての行動計画をまとめていくということで今

動いている最中。持続的な物流の環境をつくっていく中で、今まで各社個々ではできなかった、リードタイムを長くしていただくとか悪天候時に運ぶ運ばないという基準を是非この機会に業界内でおおまかなガイドラインを決めて、安定的な物流環境をつくっていくように取り組んでいきたい。【荷主企業等】

・運賃の関係等に積極的に取り組んでいる。我々の業界は多重構造ということで、下請け孫請けなど直接荷主を持たない運送業者の方が多い。こういう方々については、実情は非常に難しいのではないかと想像している。【貨物運送事業者・団体等】

・役所の方は2024年問題を広めていただけるよう、さらに浸透するように講習会や説明会をどんどんやっていただいて、荷主も運送業者も理解して問題に対応できるように、これからもやっていただきたい。【貨物運送事業者】